

活動レポート Vol. 1

高橋えいいち



荒川で社会保険労務士として 25 年

【専門家目線】

荒川区で社労士として **25 年**、叔父の代から入れると **50 年以上**、地元荒川区の中小企業を中心に人を大切にする企業づくりのお手伝いをさせていただいております。

超高齢化、少子化が進む中、働き方改革が私たちの暮らしをも変化させることは間違いありません。それに対応すべく社労士として培った専門家としてのノウハウ、経験を区政に活かしていきます。また六年前から近隣区で中学、高校、大学において**年金を中心とした働くことの基礎知識の授業**を行っており毎年リピーターも増え続けているほど好評です。是非荒川区でも授業を行いたいと思います。

【地元目線】

父は**第一日暮里**、母は**第六日暮里**小卒業生で私自身、子供も**六日小**で3代続いております。3人姉弟の長女が小学校の時に**PTA 会長**をさせていただき6年間勤めてまいりました。周りのご協力をいただきながら90周年記念事業を大成功に収め、子供も親も喜ぶサプライズ企画や総会の大改革、校庭開放の活性化に取組み、夏休み中校庭で開催される**ラジオ体操**には延べ**3000人**もの参加をいただけるように努力しました。

また荒川区初の「**お弁当の日**」を立ち上げ現在でも引継がれています

地域、行政や他の学校との連携を重要視し児童数も1.5倍にもなりました。

様々な取り組みが認められ日本PTA全国協議会から**個人賞**、**団体賞**また**文部科学大臣賞**の3賞を受賞させていただきました。

現在も西日暮里で**子育て中**です。

【高橋えいいち（英一）プロフィール】

西日暮里保育園第1期卒園生 親子3代六日小、父一日小

荒川区立道灌山中学、都立足立西高、千葉工業大学卒

荒川区立六日小PTA会長 2011年より6年間

親父の会代表8年目

荒川区PTA連合会会長1期

荒川消防団第八分団所属

東京都社労士会足立荒川支部副支部長

東京都社労士会理事



たきぐち学都議とは、毎年「あらかわ佐渡おけさまつり」で一緒に実行委員を務めています。

■タウンミーティングのお知らせ■ お申込不要です
日時：平成31年1月27日（日）お気軽にご参加ください！
午後1時30分～2時30分
場所：西日暮里ふれあい館 2階洋室1（西日暮里6-24-4）

2019年 新年号

GAKU通信 Vol. 43



都民ファーストの会 東京都議会議員 がく

たきぐち学

第4回定例会 一般質問

平成30年第4回定例会が12/19に閉会しました。

私、たきぐち学は、12/12（水）の本会議で、一般質問を行いました。

【災害対策について】

Q. 荒川下流河川事務所は、関係16市区全てを対象とした**タイムライン**施行版を公表し、4ブロックに分けて検討を実施しているが、浸水想定区域内の人口や約360万人にも及ぶことから「**広域避難**」の議論は結論をみていない。大規模水害時における広域避難については、関係者が多岐に及ぶことからその体制を確実に構築していくことが重要だが、知事の見解は？

A. 検討会で、関係機関の連携や役割をタイムラインとしてまとめていくことを合意、具体的な内容について協議を進めている。

Q. 多発する集中豪雨などを受けて、「**水害版BCP**（事業継続計画）」作成を支援すべし。

A. 今後、水害に対応するBCP作成講座やBCPに基づいた準備に要する経費の助成の充実を検討する。

Q. **東京女子医科大学東医療センター**が足立区に移転予定。都の責任で災害拠点病院の指定を行うべき。災害リスクの変化、地域性を鑑み、**災害拠点病院**の機能強化をはかるべきと考えるが見解を問う。

A. 河川による水害の発生リスクや医療資源の状況など、地域の実情を踏まえて、多様な災害への備えを講じていくことが必王。災害医療協議会において、災害拠点病院の機能強化等について検討していく。

【引きこもり対策について】 「8050」問題に対して、局横断的な対策を講じるべき。

【子ども支援について】

Q. いじめ発生件数の増加、重大事態の増加、不登校の増加という課題。重大事態発生の前に関わらず、隠蔽するような体質があってはならない。いじめを初期の段階で解消するためには、教員の資質向上と組織的に対応できる体制の構築が必要。見解を問う。

A. 子どもの情報を共有し組織的に対応する体制を強化する。

【パラリンピック競技について】

国際大会観戦の機会増加とプロモーション強化すべき。

【ライトアップについて】

夜間景観を観光資源として生かすべき。

※詳細は、ホームページ・ブログに掲載しています。

